

土屋まりアナウンサーが北星学園大学で講義 アナウンサーの仕事と役割 伝え方の大切さを強調

2024年6月7日（金）

6月7日(金)、土屋まりアナウンサーが北星学園大学で「メディアと社会」の講師を務め、経済学部などの学生約100名が出席しました。2007年から続くこの講座は同大学と朝日新聞社の連携講座で、全15回のうち2回をHTBが担当しています。今回は「地方局のアナウンサーの役割」を具体的に伝えるため、早朝の打合せから原稿の下読みなど、放送までに行っているいくつかの準備を動画を交えて説明しました。また地震や津波警報を伝える時の声のトーンの違いや、番組のナレーションでは、内容に沿ってディレクターと表現を考えたりするなど、伝え方の大切さを話しました。初めて学生への講義を行った土屋アナウンサーは「自分の学生時代を思い出し、90分という長い時間を退屈に感じてもらわないためにも、テレビ局らしく動画をいくつも使って説明しました。講義が終わり、参加した学生からテレビ局のことや就職活動のことを質問されて嬉しかったです」と話していました。

